



教育署名のあった方は
1月10日まで同封の封筒で
ご返送ください。1人分でも
結構です。よろしく
お願いします

折々のことば

鷲田 清一 2563

みななが生きていてよかったですと思える世の中
に変えていきたい。簡単には実現しないのでし
よう。でも、希望を持たないのは怠惰です。
澤地 久枝

歴史の記録から抜け落ちる人々の声を掘
り起こしてきたノンフィクション作家は、
「自分も戦争で死ななければいけない」と
思い込んだ戦時中のおのれの「無知」を恥
じることから人生を始めたと言っ。絶望に
足を取られないよう、「書かなきゃならな
い」ことを必死で書き続けてきたと。落合
恵子との対談（本紙10月16日朝刊）から。

2022・11・21

お元気ですか。

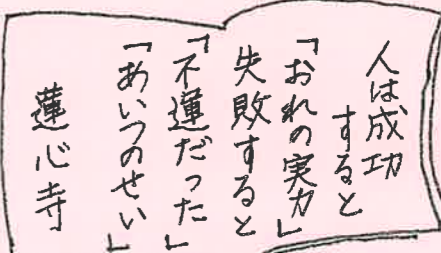
今年もまもなく終わろうとしています。1
年間 お疲れさまでした。

夕暮れが早くなり、寒くなり、足元がす
べらないように、うつむいてばかり。心細
く、（この先、私はどうなるだろう）と思っ
ています。でも、ラジオで言っていました。
この機関係紙を書いているのは12月
9日（金）ですが、この週が一番日



水 荒井裕樹の生きていく言葉 心に響く言葉の出所 <朝日新聞 2022年6月15日>

今まで会った人の中で一番緊張したのは、間違いなく、脳性マヒ者の故・横田弘さんだ。障害者差別への激しい抗議行動で知られた団体「青い芝の会」の運動家として著名な人物だ。横田さんは言葉に厳しかった。これはマナーにうるさいという意味ではない。言葉の出所の問題だ。20代の終り頃、横田さんから聞かれた。「どうして障害者は差別されるんだと思う？」。私は脂汗を拭いた。「現代社会は効率や経済性といった価値観を最優先にするので……」と、必死に言葉を絞り出した。すると横田さんは、私をにらみ「で、君自身はどう思っているの？」と重ねてきた。自分は「現代社会」と話をしていくわけじゃない。「君と話をしているんだ」「君の言葉で答えなさい。そう論じられた気がした。なんてことはない。私は自分の弱さを見破られたのだ。障害者差別はおかしいと主張しながら、実際には障害者と付き合うことに慣れていない。慣れていないから分らない。分らないから不安で怖い。そんな感情を、私は「現代社会」という大きな主語で粉飾し、ごまかそうとした。横田さんは、そこを見逃してはくれなかったわけだ。矛盾した自分を見つめ、正直に絞り出した言葉でなければ、横田さんには届かなかった。自分を取り繕う言葉は結局、誰の心にも響かないのだと、横田さんから教わったように思う。（障害者文化論研究者）



の入りが増えて、その後少しづつ日が長くなるんですけど。寒さはいよいよ本格的になるけれど、明るい時間が伸びていくのはうれしいです。身を縮めながら春を待ちます。皆様 どうぞ良いお年を。



(12月9日に書き始めたのに発行が遅くなってしまいました)

どうぞ参加してください!

2023年1月8日(日) 10:25~15:30
東北民教研 ~ 県教育会館にて。
保健室分科会 10:40~12:40
13:30~15:30
「コロナ禍で問い直す『安心できる保健室とは』」文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)



清水章弘 / 東大院卒。東京・京都・大阪で勉強のやり方を教える塾「プラスティ」を運営する教育アドバイザー。朝日新聞EduAで「200字まとめ作文」を担当。

<朝日新聞 2022年11月30日>

勉強の理由 答えず寄り添って

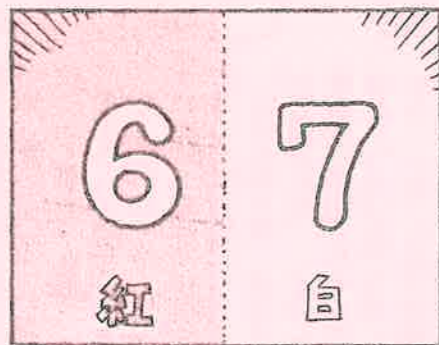
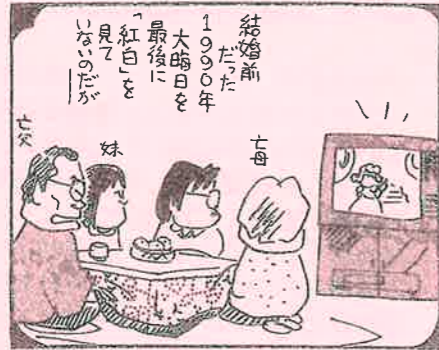
「なんで勉強するの?」とお子さんに聞かれたらどうしますか。ドキッとしますよね。無理に答える必要はありません。私のおすすめは「答えず寄り添う」です。なぜ答える必要がないのか。だって、「学ぶ理由を知りたい」よりも、私の経験上、むしろ「いま困っています!」とシグナルを出している可能性が高いからです。例えるならば、心の糸がほつれている状態。僕が塾の生徒に聞かれたら、まずは「おお、どうした?」と軽く返すようにしています。回答の範囲を限定しない、オープン・クエスチョンです。「うーん」「いやー、なんというか……」と、ほんやりした回答がきます。こちらも別に明確な回答は求めません。対話が始まる前の、心の準備時間です。準備ができたなら、「ひょっとして、テスト返ってきた?」「宿題、難しかった?」などと投

げかけます。イエス・ノーで答えやすい、クローズド・クエスチョン。学習者自身が何に困っているのか分からないことが多いので、少しずつ困りごとを聞き出します。やる気が出ない、問題集が難しくて自信がなくなった、友人関係がうまくいっていない、入試が不安……。抱えている「ほつれ」は人それぞれです。困りごとが明確になれば、表情も変わってきます。お子さんの話をたくさん聞いた後に、「そういえば、ママ(パパ)が勉強した理由を話していい?」と語るのは、とても有効です。武勇伝ではなく、情けない失敗談を入れながら。きっと対話がはずみますよ。



黒石のはずれから浪岡の入口までの、田んぼの中のひたすらまっすぐな道路、約2km。この道が凍りやすく怖い。私は「ゆっくり ゆっくり」「大丈夫だよ、時間はある」「後ろから車が来ても気にしないで」「急がない」と繰り返し声に出して自分に言い聞かせています。町中に入るとほっとします。何年乗っても冬道は怖く慣れません。





「キッパリ」

どれだけ定着したかチェックしてみよう

●チェックリスト

No.	項目	No.	項目
49	さりげなくインパクトのある自己紹介をする	45	「スママセン」で片付けない
48	聞き上手になる。	46	電話口で「相手が出たら「今、大丈夫?」と必ず聞く。
47	いいところを見つけて、ほめる。	44	「ランオ体操」をする
46	話し始めてからでも気づいて、「今、大丈夫だった?」と聞く。	43	髪分け目を替えてみる。
45	落としたり拾ったものを「ありがとう」と自然に言える。	42	食べる時に、30回かむ。
44	人にぶつかったら「ごめんなさい」と自然に言える。	41	アイメイクはちゃんとする
43	話している途中で、「あ、聞き上手になるんだっ!」と気づく。	40	全身を鏡に映す。
42	顔を見て一言、ほめられる。	39	お菓子を食べない日をつくる。
41	「今、大丈夫?」と必ず口から出るようになる。	38	お菓子を手の届かないところに隠す。
40	相手が出た瞬間、今、大丈夫かどうかわかる。	37	お菓子があっても、見ないふりをする。
39	面と向かって、とつとつとほめられる。	36	外出先でも、トイレやショーウィンドーで密かにチェック。
38	相手に会うなり、聞き上手に徹する。	35	洋服や季節によって、アイカラーを変える。
37	自己紹介を聞いた40人中15人は、自分を覚えている。	34	目まわりの筋トレを欠かさない。
36	自己紹介を聞いた40人中30人は、自分を覚えている。	33	牛乳を飲む時も、30回かむ。
35	自己紹介を聞いた40人中全員が、自分を覚えている。	32	分け目をたくさん作る。
34	知らない人に呼びかける時、「ちよつといですか?」と言える。	31	月々日まで、先生の名前を全員言える。
33	初段(黒帯)	30	師範(紅白帯)
32	初段(黒帯)	29	師範(紅白帯)
31	初段(黒帯)	28	師範(紅白帯)
30	初段(黒帯)	27	師範(紅白帯)
29	初段(黒帯)	26	師範(紅白帯)
28	初段(黒帯)	25	師範(紅白帯)
27	初段(黒帯)	24	師範(紅白帯)
26	初段(黒帯)	23	師範(紅白帯)
25	初段(黒帯)	22	師範(紅白帯)
24	初段(黒帯)	21	師範(紅白帯)
23	初段(黒帯)	20	師範(紅白帯)
22	初段(黒帯)	19	師範(紅白帯)
21	初段(黒帯)	18	師範(紅白帯)
20	初段(黒帯)	17	師範(紅白帯)
19	初段(黒帯)	16	師範(紅白帯)
18	初段(黒帯)	15	師範(紅白帯)
17	初段(黒帯)	14	師範(紅白帯)
16	初段(黒帯)	13	師範(紅白帯)
15	初段(黒帯)	12	師範(紅白帯)
14	初段(黒帯)	11	師範(紅白帯)
13	初段(黒帯)	10	師範(紅白帯)
12	初段(黒帯)	9	師範(紅白帯)
11	初段(黒帯)	8	師範(紅白帯)
10	初段(黒帯)	7	師範(紅白帯)
9	初段(黒帯)	6	師範(紅白帯)
8	初段(黒帯)	5	師範(紅白帯)
7	初段(黒帯)	4	師範(紅白帯)
6	初段(黒帯)	3	師範(紅白帯)
5	初段(黒帯)	2	師範(紅白帯)
4	初段(黒帯)	1	師範(紅白帯)

●コミュニケーションから、変えてみる!

項目	1級(茶帯)	初段(黒帯)	師範(紅白帯)
44	週3回する。	土日祝日以外はする。	月々日まで、先生の名前を全員言える。
43	左右を時々変える。	毎日いろんな分け目にする。	分け目をたくさん作る。
42	食事の時に、時々思い出して数を数える。	やわらかいものでも30回かむことに努力する。	牛乳を飲む時も、30回かむ。
41	外出しない時でも、アイブローとマスカラはする。	洋服や季節によって、アイカラーを変える。	目まわりの筋トレを欠かさない。
40	出かける前に、全身鏡でチェック。	外出先でも、トイレやショーウィンドーで密かにチェック。	道路のカーブミラーでもチェック。
39	お菓子を手の届かないところに隠す。	お菓子があっても、見ないふりをする。	ケーキを凝視しても、ガマンできる。